

# 群馬県と群馬労働局に労使で共同提言 若者の就労観・職業観醸成の取り組み ～若年者の離職率の改善に向けて～

1月18日、新春労使セミナーの交流会場において、群馬県と群馬労働局へ「若者の就労観・職業観醸成の取り組み」に向けた提言を公開で要請しました。

労使共同提言は、連合群馬と経営者協会、県内の諸問題について定期的に意見交換し、労使共通の様々な問題・課題に関して具体的な取り組みと政策を研究し、まとめています。

今回は「若年者の離職率の改善」をテーマとし、連合群馬の県民意識調査や就職してから3年後の離職率が高い現状などから、①小中学校からのキャリア教育を行うこと、②地域企業と市町村教育委員会の連携強化、③学校自由参観で保護者との連携強化、④好事例の水平展開、⑤就労観に対する意識調査の実施などについて積極的な取り組みを要請しました。

連合群馬と経営者協会は、引き続き労使で取り組める領域（キャリア教育に向けた講師派遣など）を推進することを確認しました。



見事なバチさばきを披露するつゆ草の皆さん



大澤知事に手渡す両会長



労働局芝田労働基準部長に  
手渡す両会長

交流会は、つゆ草の太鼓が元気に響きわたりスタート。

今年一年の群馬の発展を祈念し政労使で鏡開きを行い、親睦を深めました。



群馬の発展を祈念し政労使で鏡開き

## 連合群馬ユニオン第12回定期大会開催

1月29日、アニバーサリーコートラシーネ(前橋)において、「連合群馬ユニオン第12回定期大会」を開催し、ユニオン加盟組織の役員、執行部など46名が参加しました。

大会前段では、労金と全労済から各団体の歴史的背景、各種商品や会員のメリットなど、組合員のための福祉活動について勉強会を行いました。

大会では、①2010年度活動報告・会計報告、②2011年度活動方針と予算、③役員選出を行い、全体で確認しました。

木暮新執行委員長から、「来年の定期大会では、一組合でも多く労働組合が結成されていること、

ユニオン加盟組合が産別移行に向けてスタートすることが重要である」との挨拶があり、各組織と活動状況報告を含めた意見交換を行いました。



選出された新三役



加盟組織の代議員